

【参考資料】

(1) 改定率一覧

定期外	定期			合計
	通勤	通学	計	
3.3%	4.2%	3.4%	4.1%	3.6%

※改定率は、新型コロナウイルスの影響はないものとして算出しております。

(2) 現行上限運賃と申請上限運賃比較表

①鉄道

○普通旅客運賃

営業キロ	現行上限運賃	改定上限運賃
0.0 ~ 3.0 キロ	170円	180円
3.1 ~ 4.0 キロ	220円	230円
4.1 ~ 5.0 キロ	240円	250円
5.1 ~ 6.0 キロ	290円	300円
6.1 ~ 7.0 キロ	310円	320円
7.1 ~ 9.0 キロ	370円	380円
9.1 ~ 11.0 キロ	430円	440円
11.1 ~ 13.0 キロ	490円	500円
13.1 ~ 15.0 キロ	550円	560円
15.1 ~ 17.0 キロ	610円	620円
17.1 ~ 19.0 キロ	660円	670円
19.1 ~ 21.0 キロ	710円	720円
21.1 ~ 23.0 キロ	760円	770円
23.1 ~ 25.0 キロ	810円	820円

○定期旅客運賃（大人通勤1ヶ月）

営業キロ	現行上限運賃	改定上限運賃
0.0 ~ 3.0 キロ	5,310円	5,810円
3.1 ~ 4.0 キロ	7,460円	8,170円
4.1 ~ 5.0 キロ	9,050円	9,900円
5.1 ~ 6.0 キロ	11,110円	11,880円
6.1 ~ 7.0 キロ	11,940円	12,680円
7.1 ~ 9.0 キロ	14,390円	15,050円
9.1 ~ 11.0 キロ	16,870円	17,430円
11.1 ~ 13.0 キロ	19,340円	19,800円
13.1 ~ 15.0 キロ	21,390円	22,180円
15.1 ~ 17.0 キロ	23,450円	24,560円
17.1 ~ 19.0 キロ	25,500円	26,540円
19.1 ~ 21.0 キロ	27,560円	28,520円
21.1 ~ 23.0 キロ	29,620円	30,500円
23.1 ~ 25.0 キロ	31,680円	32,480円

○定期旅客運賃（大人通学1ヶ月）

営業キロ	現行上限運賃	改定上限運賃
0.0 ~ 3.0 キロ	3,910 円	4,280 円
3.1 ~ 4.0 キロ	5,470 円	5,980 円
4.1 ~ 5.0 キロ	6,590 円	7,200 円
5.1 ~ 6.0 キロ	8,090 円	8,640 円
6.1 ~ 7.0 キロ	8,690 円	9,220 円
7.1 ~ 9.0 キロ	10,470 円	10,950 円
9.1 ~ 11.0 キロ	12,260 円	12,680 円
11.1 ~ 13.0 キロ	14,070 円	14,400 円
13.1 ~ 15.0 キロ	15,560 円	16,130 円
15.1 ~ 17.0 キロ	17,050 円	17,860 円
17.1 ~ 19.0 キロ	18,550 円	19,300 円
19.1 ~ 21.0 キロ	20,040 円	20,740 円
21.1 ~ 23.0 キロ	21,540 円	22,180 円
23.1 ~ 25.0 キロ	23,040 円	23,620 円

②軌道線

○均一制旅客運賃

現行上限運賃	改定上限運賃
170 円	180 円

○均一制定期旅客運賃（大人通勤1ヶ月）

現行上限運賃	改定上限運賃
7,010 円	7,130 円

○均一制定期旅客運賃（大人通学1ヶ月）

現行上限運賃	改定上限運賃
5,090 円	5,190 円

## (3) 鉄軌道部門収支

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	2021～2023年度(3年間平均)	
			現行	改定
収入	3,518	2,723	3,541	3,654
支出	3,374	3,044	3,700	3,699
差引	144	▲321	▲159	▲45
収支率	104.3%	89.5%	95.7%	98.8%

※2021～2023年度の推定には、新型コロナウイルス感染拡大の影響による減収は反映しておりません。

## (4) 運賃収入内訳

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	2021～2023年度(3年間平均)	
			現行	改定
定期外	2,054	1,295	2,067	2,135
定期	1,099	1,012	1,111	1,156
計	3,153	2,307	3,178	3,292

※2021～2023年度の推定には、新型コロナウイルス感染拡大の影響による減収は反映しておりません。

## (5) 需要見通し

(単位：千人)

	2019年度	2020年度	2021年度 (推定)	2022年度 (推定)	2023年度 (推定)
定期外	10,553	6,628	10,333	10,214	10,097
前年比	—	▲37.2%	55.9%	▲1.2%	▲1.1%
定期	7,692	7,143	7,626	7,774	7,922
前年比	—	▲7.1%	6.8%	1.9%	1.9%

※2021～2023年度の推定には、新型コロナウイルス感染拡大の影響による輸送人員の減少は反映しておりません。

## (6) 設備投資計画

## ①設備投資計画

(単位：百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (推定)	2022年度 (推定)	2023年度 (推定)
安全対策	246	587	146	40	281	457	310
サービス改善	227	263	108	101	233	437	545
その他	85	283	59	3	9	5	5
合計	558	1,133	313	145	523	899	860

## (7) 主要プロジェクトの内容

## ①新型LRT車両の継続導入

- ・目的 バリアフリー化の推進、老朽化した車両の代替更新のため、新型低床車両を継続導入いたします。

- ・効果 市内電車をご利用いただく全ての方々の利便性向上に加え、車両修繕作業や経費の削減につながり、安全輸送の確保と経営の健全化が図られます。

## ②駅の整備

- ・目的 新川駅のスロープの設置をはじめ、沿線自治体のまちづくりと連携し老朽化した駅施設の建て替えや修繕時に合わせスロープの整備等、バリアフリー化を計画的に推進いたします。
- ・効果 鉄道駅を利用いただく方々の安全性や利便性向上が図られます。

## (8) これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

これまで、有人駅の無人化や駅窓口営業時間の変更などによる要員削減、賃金制度および退職金制度など労働条件見直し、また修繕業務の外注化を行うなど経営の合理化に取り組んでまいりました。

また、2018年4月に伊予鉄グループの持株会社移行に伴い、鉄軌道事業は事業会社化し、業務の効率化を図るとともに各種施策に迅速に対応いたしております。

今後も収支の改善を図りつつ、バリアフリー化の推進、老朽化した施設の修繕や施設・車両の更新など、継続して安全投資を実施してまいります。

## (9) 運賃・料金の多様化の内容

### ①乗り放題フリー乗車券 1Day・2Day・3Day・4Dayチケット

市内電車が乗り放題となるフリー乗車券および伊予鉄グループの電車・バス全線（一部除外）が乗り放題のフリー乗車券を発売し、多くの観光客にご利用いただいております。また、伊予鉄MaaSでも、スマートフォンで経路検索と同時にキャッシュレス購入でき画面提示で乗降できるサービスも開始しております。

### ②四国広域鉄道パス「ALL SHIKOKU Rail Pass」

海外からのインバウンド誘客促進のためJR四国および四国内鉄道4社と共同し、訪日外国人旅行者を対象に四国島内の鉄道全線フリーパス発売し、好評をいただいております。

### ③1年通勤定期券

お客様の更新手続きの負担軽減と窓口の混雑緩和を図るため、1ヶ月定期金額の12ヶ月分の12%割引とお得感ある1年通勤定期券を発売しております。

## (10) 利用者サービスの向上策

### ①新型LRT車両の導入

現在8両導入しております市内電車の低床車両5000形を今後も継続して導入し、バリアフリー化を推進し利便性を向上いたします。

### ②運転保安度の向上

重軌条化・PC枕木の設置・軌道交差点構造改良工事等、順次実施して輸送の安全確保に努めます。

### ③駅舎のリニューアル、バリアフリー化の推進

老朽化した駅舎を計画的に改築し、スロープなどを新設してバリアフリー化を推進し、皆さまにご利用いただきやすい駅を目指し旅客サービスの向上を図ります。